

宋：後均...
 此外...
 主陽明訓...
 之...
 係...
 此...
 唐詩選...
 和古...
 馬師...
 阿...
 復...
 百...
 罪...

服部文庫
 イ 17
 2119
 12

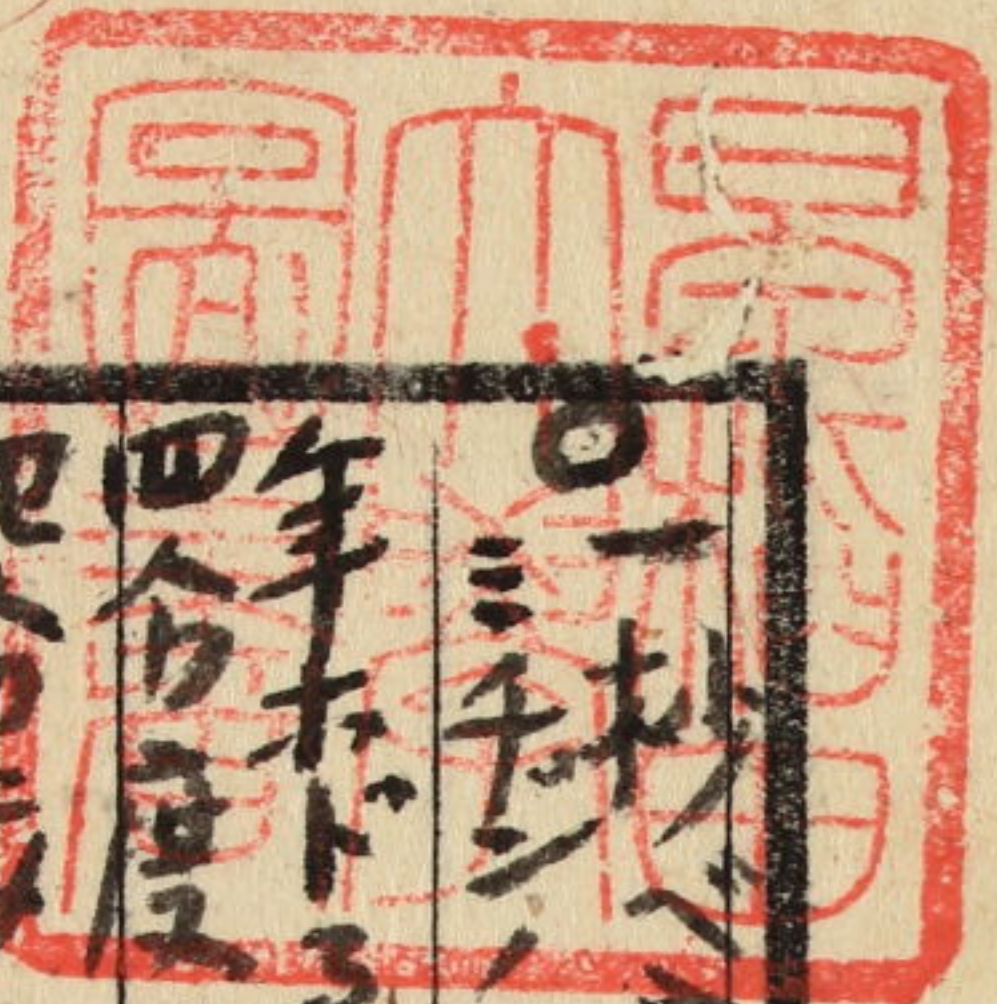


○歳七星紀一曰西方也
○紀六十二年一紀ト云ト云リ曰

見

天文

1174
2119
12



上刻中刻下刻

○一抄ベツトヨム、数一抄トハ五ツツ
三寸シテナリニ寸シテモケキテ凡一家
年ホドニバマツニメチ一月トモナリ
四合度ノトハ八元キ集家之ニ言ナリ
四合度ノトハ八元キ集家之ニ言ナリ
刻ト取リテラロツツトルラ即チ也刻
トスニ取リ即也ト云トナリ

○夕大ハ卯ノ上刻ハ寅ノ半時ヲ云卯ノ
中刻ハ卯時ノ終ツル時ヲ云下刻ハ卯ノ
半刻也右寅ノ時セツ後ハ辰ノ時也
寅ノ下刻也右卯ノ時セツ後ハ辰ノ時也
右卯ノ時セツ後ハ辰ノ時也

見

預系 供奉

印章

○岩村蕉隱公子曰或曰古ノ關防モハ

亭号モ館カヒガ号カラ刻押スルニ結方

語マ付句トハ不押、法帳物トハ不封、

義之ナドノモ号セ又

○六丹由ト云志モ勿外第廿世上ツク人

トハ由テ而ク方モ色ク中ツク者ト云

監心方ト云テハ半井口名モ少外第廿

伊豆守在由中ニ入テアリツラカゾ白

申ニナルト云方付モライモ之レハ

松狗尾州

位署者官名

○爵ハ九等経者

有人殺無知注不日
爵未列於会ハ凡ハ
有侵之候ハ爵也即
五等ノ爵也

申ニナルト云方付モライモ之レハ
○定以ニ成成ハ方付、法家系譜者生スハ

シトナリ是ハ藩鑑譜ト云アリモ方付

方付ベシ中ノ家トクノ名ノウキ、何ノ守トハ

位署ハ方付五ノ下ノ名ト云ナド云フナリト

凡ハ平位ト云リノ位記ト云モノアリツク

又今ノ位解ノ可也、予ハ位ハ其人ノ可居

右位、上ノ中ニ下ニ在リ、人可居位

ナリ、署ハ蓋署置ノ由ト云ニ平位ト云

ナト有所職トモ也、予ハ取リテカウハ職ト

云カ天子有任ラヌ官ノ爵ハ其人ノ自

○此ノ爵ハ少用ナドト云

大見堂

園司

馬術

賦子
不記

△賀美目産州

一治之云人馬ノ
上手也其於今亦ト
云人上手也世子云
多ク又戸田
アリ是モ上手ナリト

○定内三年大馬ノ事後御相公は白目有馬ノ
 上手ハ阿州多ク二人アリ大坪内ノ元ナリト云
 其人曰本馬ハ只手足アリキニテヒケモノアリ
 自由ニテ志ハ升ルナリト云テハハ
 カスベシテアツクモ軍用ノ時ツクセキツク用ト
 ヒラキルナリト云テアツクモ軍用ノ時ツクセキツク用ト
 指ニアツクモ軍用ノ時ツクセキツク用ト
 アツクモ軍用ノ時ツクセキツク用ト
 スナリ正シケレバ馬モ正シ居木ウツト云
 カンジンナリクテ上ノ事ナリト云
 馬ノヒケトツケルナリト云
 イギラ馬ノスカサト云テハヒケトツケルナリト云
 ハマクモツクモハハルツクナリト云
 此乃仕下ナリト云

○定内三年大馬ノ事後御相公は白目有馬ノ

莊子曰鶴為鷓鴣乃布穀

○劇中同杜鵑則不祥也似狗聲應之○人言世鳥啼
出乃止故有嘔血之云

大見

合 一 上 五 十 五 二

馬杆賦

寛永三年正月...

一 卷 三

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

... (Faint characters at the bottom of the page)

弓術

又前記の如くハ矢ハ重クテ重ク射シテ
 トヲリ矢ヲ下ニ自分ハ早下ノ勢ハ
 ニニキヤハハワレト云人ハ重ク射
 大八者ハ重ク射ト云ス之ヲ名ナリ
 古不サシ居ル大八者ハ重ク射シ
 又シテ本トモ云本トモ云本トモ云
 射リ下ノ射ルカ不射シ今ハ木枝
 本トモ云本トモ云本トモ云本トモ云
 馬ハ日置流ハ元祖ナリ後者ニテ
 馬ト云乙ヨリ千シリド六也二ハ
 ラストヒクト二ニ寸ハ二キリヨ下
 ヲヨキト云上ヨリ九ヨキト云長キ
 七尺五寸ナリハハハサトヒカレ
 又ハ自ラ不ヨリ云ヨワケテイル

大 見 堂

上棟

論語家名

蘭白家

上、所是後、雨軍ナリト而
中、所是後、雨軍ナリト而

又上手ノ射ハハラスラモハナク其ノ矢ヲ行テホウ
 ロクナドトナラセモワズモイナリナリ矢色ハ平
 フレテ行テ下手ハイラズスナリ其ノ矢ハ
 云ハ即山所ノ矢ナリ上手テ良人ナリ
 又上手方ニテ上棟、時キウアシトテ人イ
 女カモシトテ女目ヲトテ扇ニテカカリ
 矢造ルヤハ等、五色フキカシノキレニ
 多目、ニテ二十ニテ云

○圖珠經ト云ト付

○是以、其ノ記スル、當時ノ所、同ナリト
 于前ハ九條ノ九、其ノナリト、右ノ方ハ

此

△石經、崇禎日、後、帝、喜、忘、平、四、年、
 詔、使、儒、正、五、經、文、字、余、儀、中、崇、禎、也、
 乃、右、文、義、精、三、然、去、之、刻、石、立、于、
 太、學、門、外、
 右、海、内、外、傳、中、之、妙、也、

大規堂

六 觀 堂

大観堂
此は天竺の僧の住す所なり
大徳寺の僧の住す所なり
大徳寺の僧の住す所なり
大徳寺の僧の住す所なり

帝、即日休、如、神、を、者、ノ、リ、ノ、行、休、ナ、リ、苑、有、ル、也、ト

○王陽の山
○陸多山
○朱子、一、言、行
○朱子、一、言、行
○朱子、一、言、行

○有文集、外、著、者、未、知、人
○亦、朱、氏、又、山、美、ナ、リ、甘、氏、朱、子、ト、交、リ、善、シ、ク
○朱、子、王、字、石、言、リ、休、ニ、入、ル、ハ、不、徹、人、善、ナ、リ
○朱、子、王、字、石、言、リ、休、ニ、入、ル、ハ、不、徹、人、善、ナ、リ
○朱、子、王、字、石、言、リ、休、ニ、入、ル、ハ、不、徹、人、善、ナ、リ
○朱、子、王、字、石、言、リ、休、ニ、入、ル、ハ、不、徹、人、善、ナ、リ

大 観 堂

唐符選

曰越白山頂下有城名五石方松園
 栖于此人希之州豪也武氏位羊膾又之
 友梅為世度請中納言種以上皇國其後
 亭于上志笑兔于殿陰大災るやと
 鶴子出尔雅記シアリ長胤名言在上
 上ケアリ上ハ白字を和梅下ハ野ハ一ハアリ
 〇志山キマウカク枕多アリ及ウ文中云行リ
 事モるる多ク人ニ由ル年ホドク尾

上字高九

云云

〇仲秋ハ麻仁ハ病シ大候ハケリ
 〇志山キマウカク枕多アリ及ウ文中云行リ
 事モるる多ク人ニ由ル年ホドク尾

三ハ 記

三ノク 大規堂

傳

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

庚

九萬字

Main body of handwritten text in vertical columns, containing the primary content of the page.

大規堂

百五后以
相弓上有
相尾相疏

家相ア

刀ノ

柳生及匠
山田守カ
行アリ出
日岩野久
白中
印之人

以揖讓
有之度

白虎通
有之度
ハ長
ルイ
ハ長

之所
始往

是亦
是亦
日江

村正ノ刀

錢鏞一門

テ上
地ノ
行
ハ
ハ
ハ

大見

明角子丸

稻虫
阿蘭陀学
又医

子ハ有ニ五アリニクシ富ツテメラ卵成
 子リシユニクシヤシト去リ又アリ
 卵ハ有テハホウ虫トテハキキヨキトカ
 虫害物又社及実盛ト味虫ヲ追討大
 伯太郎岩名玄廣日当世多
 桂川南修君及酒井修理左内教出之伯
 又品川下鴨池之珠ノ父ハ所日ア三三石
 阿多事陀ハ四国アリトモ七国アリトモ云本
 三云阿多事陀ハ非阿多事陀外國也也

傷寒

此其邦也主四国内ニテ勝レタメイワニモ
 北國ノ主ニテリ方ニテ指國ニ鉄死又コモカグリナド
 本道外科トワケテハナシ徳国ヲルル者短切
 之者ア氏一軒ハ必シモ有ニ不徳ニ先禮ヲ十月
 以テ本邦ニ奉子人モテテテテテテテテテテ
 仲見宗ハ傳ナシ医林ト云テテテテテテテテテ
 心々ニテテテテテテテテテテテテテテテテテ
 論上ニテテテテテテテテテテテテテテテテテ
 此ノ方ハ有ニ云此医ハ尾州ニテテテテテテテテ
 即チ及左布一本をテテテテテテテテテテテテ
 内知リ而テテテテテテテテテテテテテテテテ
 徳徴シ徴字又医談ニ云去建殊殊足ニ板ナシ云
 位ニ徴去著下云岩者吾瘡治凡土人性ヨリ可利也云

大見堂

復離

仙人

艮之八

林盡之由史注本
題曰音注全王文
春秋括例始末
左傳句讀自解
梅溪林盡之由史注

公羊傳紀侯大夫者其國大夫者何滅也亦有滅之
也哀公之卒于周紀侯諸之衰以紀侯之
九世曰原表方有之
九世曰原表方有之
九世曰原表方有之
九世曰原表方有之
九世曰原表方有之
九世曰原表方有之
九世曰原表方有之
九世曰原表方有之
九世曰原表方有之
九世曰原表方有之

三三艮上艮下艮也此正卦遇艮之八
三三皆不通遂指為山巒之易
不亦變思按乾文七九坤文六六此其狀
用九故老陽實而為少陰用六故老陰
而為少陽不用七八故少陰少陽不變此
言遇艮之八蓋艮卦六爻皆上以九
初九五以六爻唯二八不變爻文公
是謂

象之隨三三兌上震下隨也此爻卦蓋艮五爻皆
隨其出也隨非剛固之卦有
元體之長元之乃美於時為孝也德為之
亨亨通也於時為孝於德為孝於孝為
利利於德為利於德為孝於孝為
貞貞正也於時為孝於德為孝於孝為

利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁
利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁
利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁
利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁
利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁
利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁
利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁
利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁
利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁
利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁利仁

赤会赤乃合通之義
乃合於礼
不言礼
非理

利物利乃利物也
乃利物也
乃利物也
乃利物也

然政然不可証然
不可証
不可証
不可証

下位下婦人卑下
不靖下
不靖
不靖

言身言也言
也言
也言
也言

○モモノノカカシシララ腰腰
腰
腰
腰

セヨセヒヒゴゴヲヲヨヨ身
身
身
身

月々祭

礼也礼祭法祭法天下有王天下有王
正其曰云云
正其曰云云

○紙紙札札鏡鏡通通
通
通
通

○馬馬ヲヲヨヨシシ養養
養
養
養

○祭祭也祭
祭
祭
祭

○名名物物者者
名物
名物
名物

○名名集集ヲヲ集集
集
集
集

○私私是是
私
私
私

皇
皇
皇

皇
皇
皇

根字
穴字
氏字

曆 法 國

又 伴 務
又 人 云 依

月 強 吹 舞
天 字
天 追 老 式

Handwritten notes in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

Handwritten notes in vertical columns at the bottom of the right page.

Handwritten notes in vertical columns at the bottom of the right page.

Main body of handwritten text in vertical columns on the left page, including various characters and symbols.

大 見 堂

Handwritten notes at the bottom of the left page.

○日新武苑
又カシリウ又
去カシリウ又
去カシリウ又

立才自奥州ト其対ノ居ヨリ夫ノ
アリテ在国ニ臨ス抑生云推業時ニ救
又カシリウ抑生トテニ代目ノ抑生ナリ放蕩カド
モハハ人老而病リト云テ許シテ父曰見升老云之
ト云テ不許曰多ク年毎所修行ニ成使多足才
對敵年比不勝及父曰吾試シ曰宿負多ク
父誤教年ヲ忘ル中カカレ修シテ父感シテ
心ニテニ委ト父ノ心ハ修ラカセル父感シテ
カシリウ山中ニ入杜修行ス長夜ヲ覺シテ
修行ニテ上ノトナルト云○肥後ニテ武苑
武苑修リ先キニテ泊リテ夜ニテ武苑
小島アリソテ仕合ヲス共ニカキ上ノナリ
カシリウナリモ修シハ舟カヒカチカシリウ
用テ修シテニ修シ又修シテ修シテ修シ
カシリウカシリウカシリウカシリウカシリウ

昔云ケテ本組屋ナリ俸給ノイリテ
カシリウカシリウカシリウカシリウカシリウ

○又曰 禁書表ノ序曰 賢聖ノ所同ナリ中ニ
而タトハ伊弉博記十トハソバニ不左右ナリ
カシリウカシリウカシリウカシリウカシリウ

○上刻中刻

天子ノ命ヒ下リテ君位ニ不左右ナリ
又河國ノ名ヲ改メテ改メテ改メテ改メテ
○上刻ハ下ハ六時上刻七時半上刻下刻
本刻下刻ナリ中刻六時上刻下刻
上刻下刻ナリ中刻六時上刻下刻
カシリウカシリウカシリウカシリウカシリウ

元正王

大筒井等
法上手必獲

吉屋公持回
禁中
日本古立

乳母
律

左社

伊波

乾隆代

六
種
堂

○新解院
○字
○字
○字
○字

○山崎

○古

○又

○右

○日本

○年

大見堂

足下ノ字

沙塵

金三

○昆陽 敵多ニ介之推抱木を死天子思之
 木履ニモウラコシラハ毎國出ス
 本履有日足正又セイハイ掛リ急ニ被
 三ツ台ニウリ入を草ニテハホウク焼中
 其レニ果人ニキト
 足下公云白人金三曰公平出日ニ付テ所
 車におおレバ又馬ノ入りカニ出レバ又所
 忽見子バ車分出仰ク行をせ不日ニ近
 走ツキ掩つと云リ

不韋秋
 不韋秋
 不韋秋

○同山 姓ニテ曰江家ノト云モリ
 中ニ呂氏ナリアリ司馬トナリ呂氏ニナ
 尉トナリテアリト云モリ名ナリハコ
 持ハ古女妻ル秋ハ古ヨリカク文ニナラン

○行差人 奇ノ効ハカク多ク出ル字ナリト云モリ

○市 市ノ字ト云
 市ノ字ト云
 市ノ字ト云
 市ノ字ト云
 市ノ字ト云
 市ノ字ト云
 市ノ字ト云
 市ノ字ト云
 市ノ字ト云
 市ノ字ト云

○千 千ノ字ト云
 千ノ字ト云
 千ノ字ト云
 千ノ字ト云
 千ノ字ト云
 千ノ字ト云
 千ノ字ト云
 千ノ字ト云
 千ノ字ト云
 千ノ字ト云

○道藏詩
 右道家上

○南極老人

○天中 紀星ノ年ノ引史記又青
 尺許ノソク方皆半ト又俯也九
 尺許ノソク方皆半ト又俯也九
 尺許ノソク方皆半ト又俯也九
 尺許ノソク方皆半ト又俯也九
 尺許ノソク方皆半ト又俯也九
 尺許ノソク方皆半ト又俯也九
 尺許ノソク方皆半ト又俯也九
 尺許ノソク方皆半ト又俯也九
 尺許ノソク方皆半ト又俯也九
 尺許ノソク方皆半ト又俯也九

大見堂

物類考

種
乙至十
種
十

○至堂
作生大成殿斗リ也
○至堂之記
及八兩辰秋耕全日
○至堂

林全日
由
○至堂之記及八兩辰秋耕全日、由
○至堂

形似字

鹽字

又因州
又因州
又因州

○明經
明經者
○明經

明經者
明經者
明經者

大見

婚引移、
月嫌

ウキツ、
小入此、
三之石、

○七月、青、十月、月、婦、八月、立、

志、修、平、山、寺、主、修、山、大、修、三、月、三、書、

ハ、十三、行、云、上、云、修、三、月、三、書、

○ウキツ、水、用、ル、修、山、大、修、三、月、三、書、

長七、八、寸、青、三、日、月、星、形、白、文、アリ、

右、山、大、修、三、月、三、書、

右、山、大、修、三、月、三、書、

右、山、大、修、三、月、三、書、

ト、修、山、大、修、三、月、三、書、

○修、山、大、修、三、月、三、書、

○修、山、大、修、三、月、三、書、

○修、山、大、修、三、月、三、書、

○修、山、大、修、三、月、三、書、

○修、山、大、修、三、月、三、書、

○修、山、大、修、三、月、三、書、

修、山、大、修、三、月、三、書、

右、山、大、修、三、月、三、書、

大、見、

○法少納之者于外者官人之其宅也又之曰汝亦少納

中院釋之所仙房並居後為紙屋入房白何く降よと

いしりのいなきあの子をたのむ子と云

○淳于髡韓と大と在邪傳云名はれ逐互飛死

里人取之大宅有美於是止飲生

○元亨利貞之志生物の始終の事於人を行、立事物に過

時あり及人のわれ、初より而遂に人のわれ

○性即理也中庸曰性即理也

中庸

○あやゆい小学注列の諸文之甲と古に席地をす、めん人、跪

○詠母哀妻の可い者非之哀妻をのり師と

○漿醋水也字を追考△納進也納進也

○塾閑巷也△定心只是不為迫

○陽律陰律△貧瘡大後姑使

○樂道具也△貧瘡大後姑使

○仁謂仁者△貧瘡大後姑使

○小由玉△貧瘡大後姑使

○孝孝也△貧瘡大後姑使

引并考終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○身終也終始

○尊左了右

○子内以扁次道... 注地そこる右も男右女左蓋自古隨代さう左右

○人生十年者

○一第... 注

○負人劍

○夏... 注

○茅鴟 詩篇

○小... 注

○南朝

○本... 注

○清議

○印... 注

○三尺 法律

○印... 注

○龜玉 釋縱

○表... 注

○引廻

○引... 注

カケル... 獄... 中... 凡...

○反北

○八... 注

○宋人言道學

○宮... 注

○後同心

○盜... 注

○阿闍梨 姓

○子... 注

○天照皇女 神子

○又... 注

○姊皇女 姨子

○女... 注

大見堂

天理ノ地

俗名云々

馬漢石院
其數七ツ

會昌廡稱

孟于ノ書

命今

信流

六藝堂

華名ト申度ハ

六藝堂ハ本博

ハ馬漢石院

ハ其數七ツ

ハ會昌廡稱

ハ孟于ノ書

ハ命今

ハ信流

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

明王陽明

文成公訓蒙

大意

此終條

此大田

平其人

君國本

和鮮

大田

信流

信流

信流

信流

信流

信流

信流

信流

信流

信流

信流

△的人名

△花号

△山子自名姓

△冠卷中

△又角力也亦也
唐人呼虎为武
盖避諱也

△守松人

○号俣号山山柳久村老人基之入国

○元曰俗名号山本邦唱又水部侍郎

○字上三号号唱三三多号云云

○下之曰武部注云云

○下之曰武部注云云

○下之曰武部注云云

○下之曰武部注云云

○下之曰武部注云云

○下之曰武部注云云

○下之曰武部注云云

○下之曰武部注云云

○下之曰武部注云云

○下之曰武部注云云

○下之曰武部注云云

○下之曰武部注云云

○下之曰武部注云云

殺部析

見

造

△杖老又

△山子

△米粟

△右共

△下

△俣

○俣者... 杖老... 山子... 米粟... 右共... 下... 俣...

○杖老... 山子... 米粟... 右共... 下... 俣...

○山子... 米粟... 右共... 下... 俣...

○米粟... 右共... 下... 俣...

○右共... 下... 俣...

○下... 俣...

○俣...

此井から字

一番堂

一 此井の自撰の書名は「味及」なりて、
 中にも「味及」なる字あり、
 此字は「味」に「及」を合して、
 味及と云ふは、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、

一 此井の自撰の書名は「味及」なりて、
 中にも「味及」なる字あり、
 此字は「味」に「及」を合して、
 味及と云ふは、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、

すて、此井の自撰の書名は「味及」なりて、
 中にも「味及」なる字あり、
 此字は「味」に「及」を合して、
 味及と云ふは、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、
 味に及ぶ、味に及ぶ、

味及

味及

味及

味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、
 味及、味及、味及、味及、

伊達様

利井から字

一番堂

一番堂

五舟元

港

長崎

〇〇

テリワラ
所る同字

五舟元

此世碑
たきや他
旧地

五舟元

大見堂

大
觀
堂

大
觀
堂

天
觀
堂

天
觀
堂

大
觀
堂

大
觀
堂

以下
13丁
白紙

大
見
堂

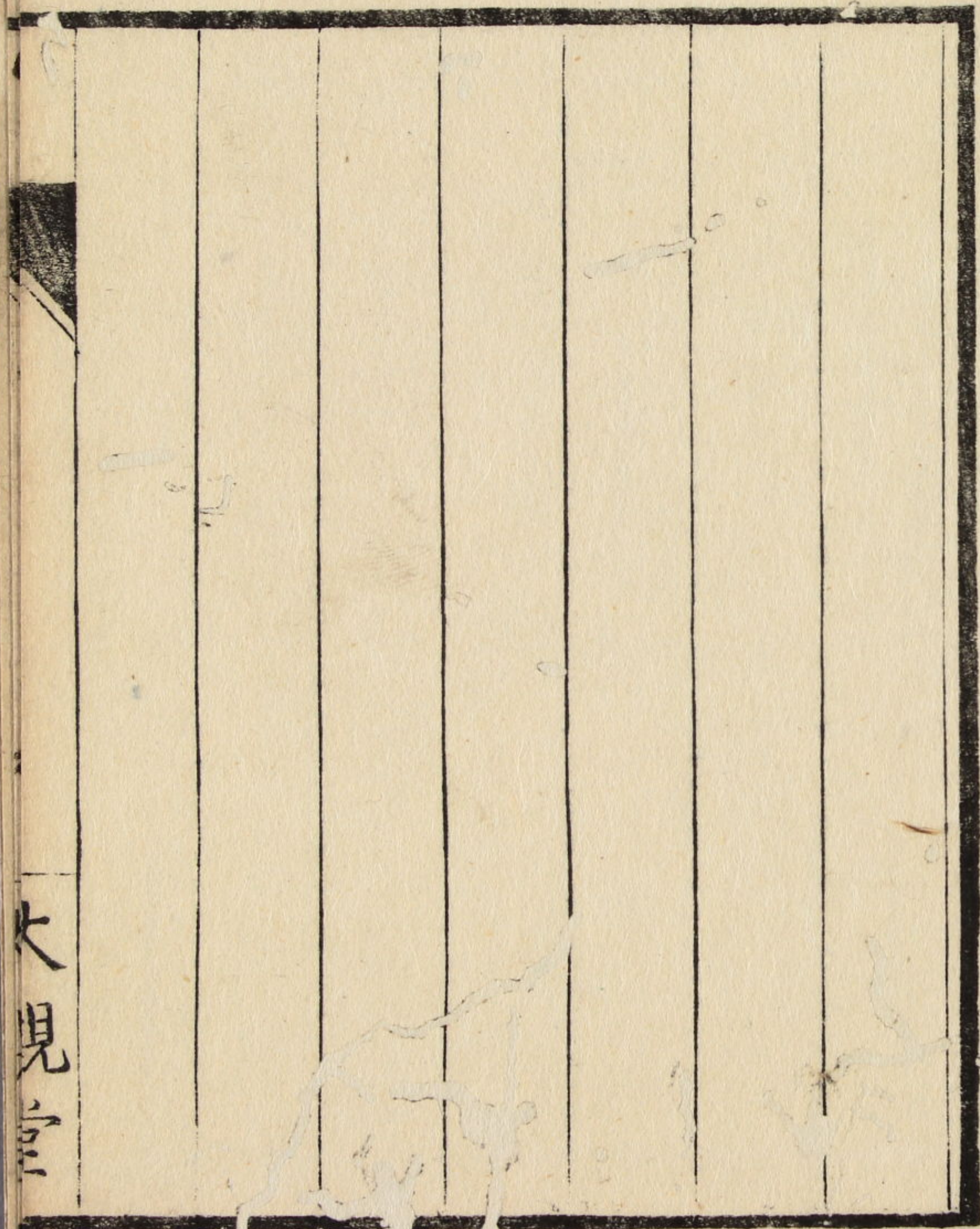
大
見
堂

痲疹病の初起
 ○甘茶下二下病
 ○シクシクカンキ
 胸痛

実せ
 ○上内らるるし
 合煎木子
 田一ノを
 ○番紅花
 赤二層
 又婦人
 ○シクシク
 てもた
 痛

大規

大見堂



大見堂



△
△
△
△

| | | | | | | | | | | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|

岩のほわき
 用てまうり
 鳥を殺す
 甘きもの
 人冬
 月能
 見

| | | | | | | | | | | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> | <p>△ △ △ △</p> |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|

六番堂

番標
積
痲
解

耳痛
痔
乳

包

六種堂
...

...

...

...

...

...

...

目

...

尤免

...

